

第35回 江刈地区文化祭

みんな来てケロ！
見でケロ！
かだつてケロ！



第35回江刈地区文化祭は10月26日、江刈農村センターで開催され、約300人が来場しました。
文化祭は江刈保育園と五日市保育園の園児によるお遊戯で幕開け。会場には多くの町民が来場し、元気いっぱい園児たちに声援を送りました。会場には江刈地区の保育園、小学校、中学校の子どもたちや個人の作品がずらりと並び、来場者はじっくりと一つ一つの作品を鑑賞していました。食堂では町産ナタネ油を使用したからあげが初登場し、人気を集めていました。江刈中の有志の生徒は体験ブースを担当。わなげやお菓子釣りは子どもたちを楽しませていました。また、ステージでは煙山おかめ(矢巾町)のスコープ三味線の発表があり、大いに盛り上がりました。
喫茶ブースを担当した江刈小PTAの鹿渡光さん(野



中)は「地域で協力し準備をすることで団結力が深まった子どもたちが楽しそうだなにより」と笑みをこぼし、体験ブースを担当した岩脇咲希さん(江刈中2年)は「小さい子どもや大人と上手く話せる不安だったけれど、優しく接することができた。何度も挑戦する子どももいてうれしかった」と地域住民との触れ合いに充実した様子が見られました。



1オープニングのお遊戯を鑑賞する地域住民2園児たちによる元気いっぱいのお遊戯3カラフルに裝飾された喫茶コーナー4町産ナタネ油を使ったからあげを販売した食堂コーナー5展示作品を鑑賞する来場者6体験コーナーは子どもたちに大人気7会場を盛り上げた煙山おかめのスコープ三味線



図書ボランティア養成講座 読み聞かせの楽しさ感じる

図書ボランティア養成講座の4回目「読み聞かせ教室」が11月15日、くずま〜るで行われ、4人が参加しました。

県立図書館で読書ボランティアとして活動する野坂純子さんが講師となり、わらべ歌や手遊びの実践、読み聞かせの経験談などを話しました。季節や年齢に応じた多様な手遊びを行った参加者からは自然と笑みがこぼれ、読み聞かせの楽しさや醍醐味を身近に体験する時間となった様子でした。



手遊びを実践する参加者と講師の野坂さん(円内)

月に一度のライブラリーカフェ 自分好みのしおりで読書を



講師の中村さん(左)に手ほどきを受ける参加者と作成途中のしおり(円内)

11月18日、まなベースで図書室イベント「ライブラリーカフェ」が開かれ、4人が参加しました。この日は青森県津軽地方に伝わるこぎん刺しをあしらったしおり作りが行われ、講師の中村智子さん(二戸市)のサポートを受けながら、参加者は自分好みの模様や色の組み合わせを選び、個性豊かな作品を作り上げました。参加者は「さっそく自宅の本に使いたい」とうれしそうな表情でしおりを眺めました。

社会体育館・公民館図書室
年末年始はお休みします
休館日
12月29日(月)～1月3日(土)
囲まなび交流課 ☎65-8990
スポーツ協会 ☎66-3607

公民館図書室 **クリスマス** コーナー
クリスマスを題材にした絵本や児童本を展示しています。ぜひご覧ください。
期間 12月25日(木)まで
場所 くずま〜る 2階図書室

公民館図書室

おすすめ本紹介



「おいしいはやさしい」
宮田 愛萌 著

偏食なオーナーが開いたカフェには食と人生に悩むさまざまな人が訪れる。食を通じて生まれる人のつながりや思いやりを描いた温かな連作短編集。



「お悩み相談 そんなこともアラナ」
ヨシタケ シンスケ 著

元気がない歴50年の著者が「元気がない人の考え方」で数々のお悩みに答えます。「まあ、そんなこともアラナ！」という受け入れ方を目指しましょう！



「こねこねこのねこうどん」
くさか みなこ 著

個性豊かなねこたちが生地をこねこねして、おいしいうどんをつくりまします。読んで歌って盛り上がる、食育にもなるユーモアたっぷりの絵本。